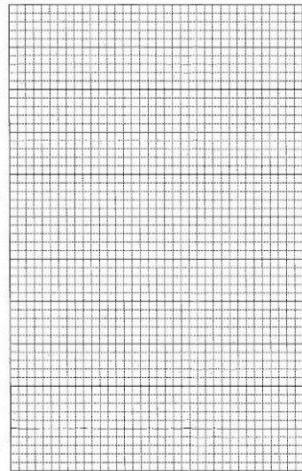


ID <sup>注1)</sup>	131202	公開レベル <sup>注1)</sup>	C	保管形式 <sup>注1)</sup>	紙	保管場所 <sup>注1)</sup>		前回ID	
報告書名称 /調査名称	白神山地世界遺産地域等における垂直分布の植生モニタリング調査						発行年月/報告年月		
							2014年	3月	
調査機関	東北森林管理局			委託機関	(一社) 日本森林技術協会				
	調査開始年	2013年	7月	調査期間	2013年	8月	~	2013年	9月
調査頻度 <sup>注2)</sup>	不定期	一	一	調査時期 <sup>注2)</sup>	夏	一	一		
モニタリング計画	2012年3月	策定	区分 <sup>注2)</sup>	II A	大区分 <sup>注2)</sup>	1	小区分 <sup>注2)</sup>	(1)	
調査箇所・範囲 <sup>注3)</sup>					調査手法				
<input type="checkbox"/> 核心地域 <input checked="" type="checkbox"/> 緩衝地域 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺地域 <input checked="" type="checkbox"/> GPS等の位置データあり					<b>1. 白神岳等垂直分布の植生モニタリング調査箇所等</b>  ※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。				
					<b>1. 白神岳等垂直分布の植生モニタリング調査に係る植生調査の実施。</b> ①2012年設定の定点植生調査区（直径20m）の円形調査区にて植生調査実施。白神岳47点、高倉森23点、ニツ森7点、小岳15点、合計92点。 ②別表1の植生基本調査票に定点に出現する植物全種のリストアップ及び被度・群度を記録。また、群落の断面模式図（階層構造）、地形上のプロットの位置、地形等を模式図として記録。結果を別表2（抜粋）に整理。				
					別表1 植生基本調査票 				
									
結果概要（スペースに収									
<b>2. 植生概況</b> ①白神岳：国有林の森林簿による区分では、白神岳のプロットは、その他の広葉樹、スギ・ヒノキ、ブナ、その他（林地外）に区分される場所に設置されていた。プロットの設置標高は95mから1215mまで47点であった。群落はプロットNo.1の標高95mからプロットNo.20の574mまでミズナラ林、コナラ林、ミズキ林、アカイタヤーヒノキアスナロ林、シナノキ林、ヒノキアスナロ林、ブナーヒノキアスナロ林が、プロットNo.21の標高617mからプロットNo.40の1041mまではブナ林が成立していた。プロットNo.39の標高1035m以上では最大樹高が小さくなり、ダケカンバ林、ブナ林、ミヤマナラ低木林が成立していた。プロットNo.45の1186m以上から森林の発達しない偽高山帯となり、チシマザサ群落、ヒメノガリヤス群落が成立していた。なお、平成24年度報告書で外来種として取り扱われたオオバコは山頂付近の標高1215mのプロットNo.47で確認されたほかは未確認であった。 ②高倉森：国有林の森林簿による区分では、高倉森のプロットのほとんどは、ブナ林に区分される場所に設置されていた。プロットの設置標高は279mから817mまで23点であった。群落は大部分がブナ林であり、プロットNo.56の標高543mからプロットNo.58の571mの範囲でブナーミズナラ林、ブナーキタゴヨウ林が成立していた。なお、オオバコ、その他外来種は確認されなかった。 ③ニツ森：国有林の森林簿による区分では、ニツ森のプロットのほとんどは、ブナ林に区分される場所に設置されていた。プロットの設置標高は894mから1028mまで7点であった。プロットNo.71の標高894mからプロットNo.76の999mまでは大部分がブナ林であったが、プロットNo.73の標高958mにはダケカンバ林が成立していた。山頂付近のプロットNo.77の標高1028mではブナ低木林が最大樹高5mで成立していた。なお、オオバコ、その他外来種は確認されなかった。 ④小岳：国有林の森林簿による区分では、小岳のプロットのほとんどは、ブナ林に区分される場所に設置されていた。プロットの設置標高は722mから1018mまで15点であった。標高722mから944mまでは大部分がブナ林であったが、標高854mにはブナーダケカンバ林が成立していた。標高953m以上では最大樹高が低下し、標高987mからミヤマナラ低木林となり、山頂付近の標高1018mのプロットNo.92ではハイマツ群落が最大樹高1.5mで成立していた。なお、オオバコ、その他外来種は確認されなかった。									
問い合わせ	林野庁 東北森林管理局 計画保全部計画課 〒010-8550 秋田県秋田市中通五丁目9番16号 TEL : 018-836-2489 FAX : 018-836-2203 《原本（データ）の帰属について》								

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。

注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。

注3) 該当する項目の□をクリックし、チェックを入れる。

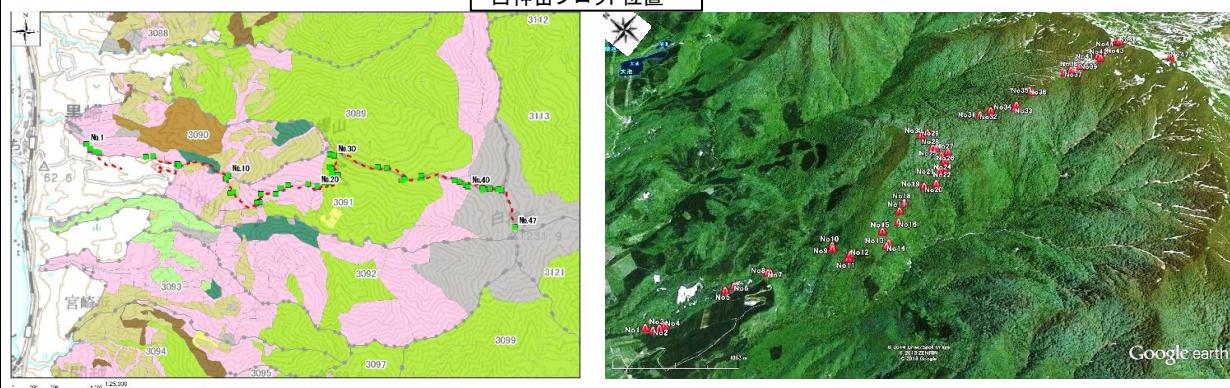
## 備 考

別表2(抜粋)

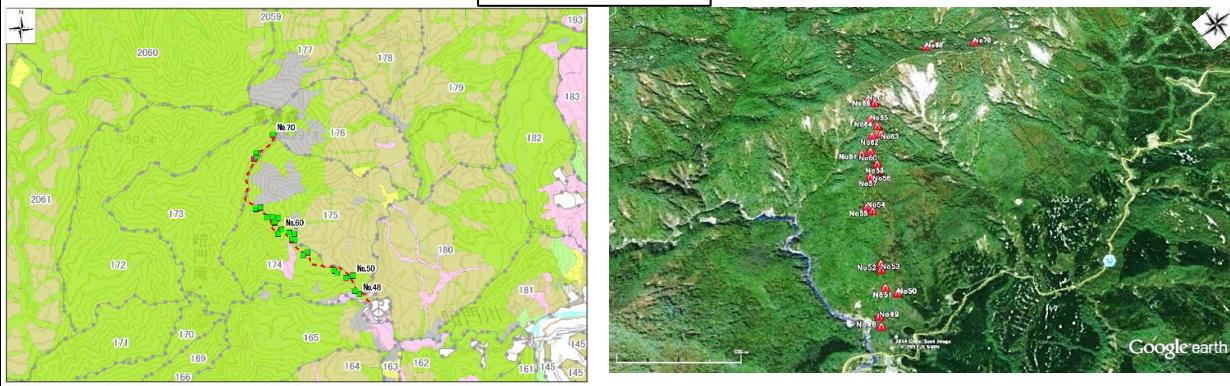
地区	プロットID	標高(m)	最大樹高(m)	群衆名	高木層、被覆率(%)	裏高木層、被覆率(%)	低木層、被覆率(%)	草本層、被覆率(%)	高木層、被占率(%)	裏高木層、被占率(%)	低木層、被占率(%)	草本層、被占率(%)	種数	
白神岳	No.1	95	18.0		90	60	80	60	サザン、ヤマモミジ	オオバクロモジ	ツヤマツシグ	50		
	No.2	111	23.0		85	40	30	80	ミズナラ	ウツミツバク	オオバクロモジ	64		
	No.3	129	20.0	ミズナラ林	80	20	60	80	ミズナラ	ウツミツバク、ニガキ	オオバクロモジ	57		
	No.4	135	18.0		90	20	30	80	ミズナラ	ミズナラ	ミズナラ	33		
	No.5	202	22.0		90	40	20	60	ミズナラ	ハツチワカエデ	ミズナラ	23		
	No.6	193	22.0		85	60	10	70	ミズナラ	ヒノキアスナロ	ハツチワカエデ	28		
	No.7	227	20.0	コナラ林	90	60	40	90	コナラ	ヒノキアスナロ	ハツチワカエデ	53		
	No.8	237	18.0	ミズナラ林	90	30	20	60	ホオノキ	ブナ、ミズナラ	ハツチワカエデ	88		
	No.9	323	18.0	ミズキ林	80	30	30	80	ミズキ	ヒノキアスナロ	ツヤマツシグ	53		
	No.10	333	18.0	ミズナラ林	90	30	30	80	ミズナラ	ハツチワカエデ	ヒノキアスナロ	52		
	No.11	338	22.0	アカイタヤ・ヒキアスナロ林	90	10	20	70	アカイタヤ	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	54		
	No.12	356	20.0	シナノキ林	90	40	30	70	シナノキ	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	61		
	No.13	405	20.0		90	60	40	90	ミズナラ	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	29		
	No.14	401	16.0	ミズナラ林	90	40	30	60	ミズナラ	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	32		
	No.15	455	22.0	ブナ・ヒキアスナロ林	70	40	20	70	ブナ	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	23		
	No.16	462	18.0	ミズナラ林	85	60	50	30	ミズナラ	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	51		
	No.17	504	22.0	ヒノキアスナロ林	90	50	10	30	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	18		
	No.18	517	24.0	ブナ林	80	40	30	40	ブナ	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	20		
	No.19	561	22.0		80	20	10	70	ブナ	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	51		
	No.20	574	22.0	ブナ・ヒキアスナロ林	90	20	5	60	ブナ	ヒノキアスナロ	ヒノキアスナロ	37		
	No.21	617	21.0		70	10	5	90	ブナ	アカイタヤ	ハツチワカエデ	32		
	No.22	626	18.0		80	40	5	50	ブナ	ヒノキアスナロ	ブナ	44		
	No.23	646	20.0		80	10	20	90	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	43		
	No.24	665	22.0		80	50	10	80	ブナ	アカイタヤ	ブナ	47		
	No.25	699	24.0		90	30	30	80	ブナ	アカイタヤ	オオカメノキ	37		
	No.26	706	24.0		90	30	10	90	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	36		
	No.27	737	22.0		80	30	20	80	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	44		
	No.28	748	24.0		75	40	40	90	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	42		
	No.29	808	24.0		75	15	30	80	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	54		
	No.30	812	22.0		75	30	60	80	ブナ	アカイタヤ	ツヤマツシグ	43		
	No.31	838	22.0	ブナ林	90	30	60	80	ブナ	アカイタヤ	ツラホララビ	33		
	No.32	846	18.0		80	40	60	80	ブナ	ブナ	ツラホララビ	63		
	No.33	886	20.0		90	20	90	10	ブナ	ブナ	ツラホララビ	33		
	No.34	900	24.0		80	20	90	80	ブナ	アカイタヤ	ツラホララビ	25		
	No.35	942	18.0		90	40	60	80	ブナ	ブナ	ツラホララビ	43		
	No.36	949	22.0		90	40	60	80	ブナ	ブナ	ツラホララビ	34		
	No.37	995	18.0		70	20	80	90	ブナ	アカイタヤ	ツラホララビ	40		
	No.38	1003	18.0		80	10	80	40	ブナ	ダケカンバ	ツラホララビ	23		
	No.39	1035	9.0		60	90	40	100	ブナ	ブナ	ツラホララビ	28		
	No.40	1041	11.0		30	100	—	—	オガラバナ	ツラホララビ	ツラホララビ	29		
	No.41	1090	12.0	ダケカンバ林	20	80	100	—	ブナ	ダケカンバ	ツラホララビ	32		
	No.42	1096	12.0	ブナ林	70	50	100	—	ブナ	ブナ	ツラホララビ	42		
	No.43	1135	12.0	ダケカンバ・低木林	15	70	90	—	ダケカンバ	ナナマド	ツラホララビ	41		
	No.44	1135	5.0	ミヤマナラ低木林	—	—	95	100	ミヤマナラ	ミヤマナラ	ツラホララビ	42		
	No.45	1198	—	チシマツサ群落	—	—	100	—	—	—	チシマツサ	39		
	No.46	1199	—	チシマツサ群落	—	—	100	—	—	—	チシマツサ	58		
	No.47	1215	—	ヒメガヤス群落	—	—	100	—	—	—	ヒメガリス	43		
高倉森	No.48	273	20.0		80	10	30	70	ブナ	リョウブ	オオイワツチ	27		
	No.49	288	20.0		80	30	10	70	ブナ	ハツチワカエデ	マルバマンサク	48		
	No.50	352	20.0		90	10	5	30	ブナ	ブナ	ツユ	41		
	No.51	369	24.0	ブナ林	90	40	30	70	ブナ	リョウブ	オオバクロモジ	28		
	No.52	407	22.0		90	20	5	60	ブナ	ハツチワカエデ	オオカメノキ	23		
	No.53	421	26.0		80	5	10	80	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	35		
	No.54	476	23.0		90	20	10	80	ブナ	ハツチワカエデ	ツヤマツシグ	22		
	No.55	474	22.0		90	5	3	50	ブナ	ブナ	オオバクロモジ	44		
	No.56	543	20.0	ブナ・ミズナラ林	80	10	5	40	ブナ	アカイタヤ	オオカメノキ	46		
	No.57	556	25.0	ブナ林	80	20	30	60	ブナ	ハツチワカエデ	リョウブ	47		
	No.58	571	23.0	ブナ・キガヨウ林	80	10	40	50	キガヨウ	ブナ	オオカメノキ	34		
	No.59	585	24.0		80	20	50	80	ブナ	オオバクロモジ	オオバクロモジ	43		
	No.60	610	24.0		70	20	60	80	ブナ	アカイタヤ	オオバクロモジ	46		
	No.61	594	21.0		85	20	30	40	ブナ	ブナ	ツヤマニシグ	62		
	No.62	663	24.0		90	10	50	80	ブナ	オオバクロモジ	ツヤマニシグ	35		
	No.63	658	26.0		90	0	10	90	ブナ	オオバクロモジ	オオバクロモジ	36		
	No.64	681	24.0		90	10	30	90	ブナ	オオバクロモジ	ツヤマニシグ	25		
	No.65	686	24.0	ブナ林	70	20	60	80	ブナ	ハツチワカエデ	ツヤマツシグ	23		
	No.66	723	20.0		50	—	—	80	ブナ	リョウブ	ツヤマツシグ	23		
	No.67	736	20.0		60	50	30	80	ブナ	ハツチワカエデ	ツヤマツシグ	27		
	No.68	821	23.0		90	10	60	90	ブナ	アオダマ	ツヤマツシグ	22		
	No.69	815	20.0		90	10	60	90	ブナ	アオダマ	ツヤマツシグ	17		
	No.70	817	18.0		90	10	20	90	ブナ	ハツチワカエデ	ツヤマツシグ	24		
	No.71	894	17.0	ブナ林	70	5	10	100	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	33		
	No.72	909	16.0		90	60	30	100	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	34		
	No.73	958	16.0	ダケカンバ林	70	10	30	100	ダケカンバ	ブナ	ツヤマツシグ	33		
	No.74	968	16.0		70	20	10	100	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	15		
	No.75	993	12.0	ブナ林	70	10	5	100	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	24		
	No.76	999	14.0		80	20	85	100	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	22		
	No.77	1028	5.0	ブナ低木林	70	10	100	100	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	24		
小岳	No.78	722	24.0		80	60	40	80	ブナ	ハツチワカエデ	タムシバ	31		
	No.79	709	24.0		80	10	20	80	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	45		
	No.80	782	24.0		80	30	50	70	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	30		
	No.81	778	24.0	ブナ林	70	10	50	80	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	33		
	No.82	809	22.0		90	10	90	90	ブナ	リョウブ	ツヤマツシグ	34		
	No.83	805	26.0		40	50	30	70	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	44		
	No.84	858	24.0	ブナ・ダケカンバ林	70	20	60	50	ブナ	チシマツサ	ツヤマツシグ	31		
	No.85	854	20.0		20	10	70	60	ダケカンバ	ブナ	ミヤマナラ	ツヤマツシグ	27	
	No.86	907	15.0	ブナ林	70	10	80	90	ブナ	リョウブ	ツヤマツシグ	33		
	No.87	913	20.0		20	40	60	40	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	45		
	No.88	953	9.0	ブナ低木林	—	50	90	40	ブナ	チシマツサ	ツヤマツシグ	29		
	No.89	944	14.0	ブナ林	70	10	30	80	ブナ	ブナ	ツヤマツシグ	34		
	No.90	987	3.0	ミヤマナラ低木林	—	—	40	100	—	リョウブ	ミヤマナラ	29		
	No.91	988	1.2	—	—	—	95	—	—	リョウブ	ミヤマナラ	25		
	No.92	1018	1.5	ハイマツ群落	—	—	100	—	—	ハイマツ	ハイマツ	22		

## 備 考

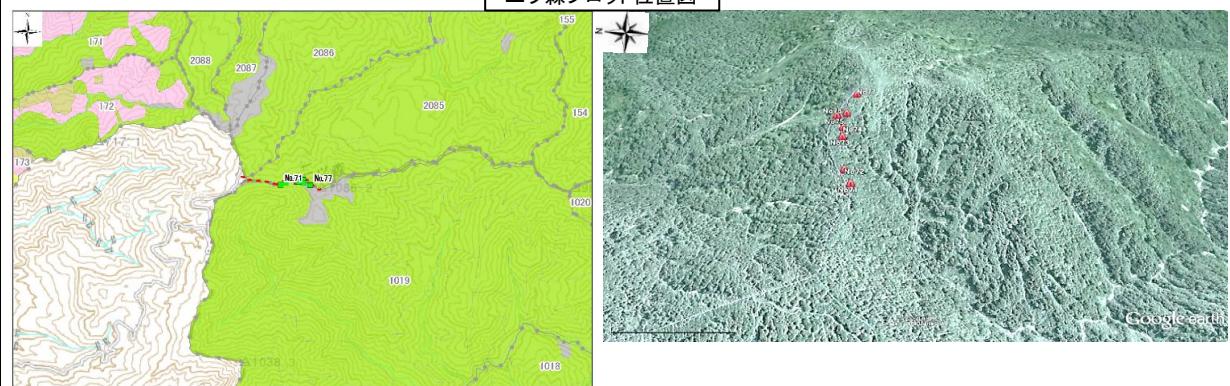
## 白神岳プロット位置



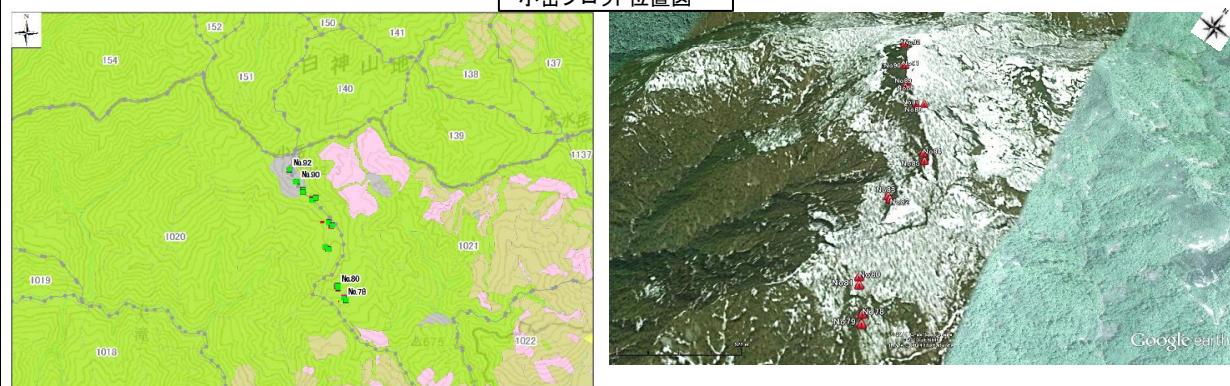
## 高倉森プロット位置



## ニツ森プロット位置図



## 小岳プロット位置図



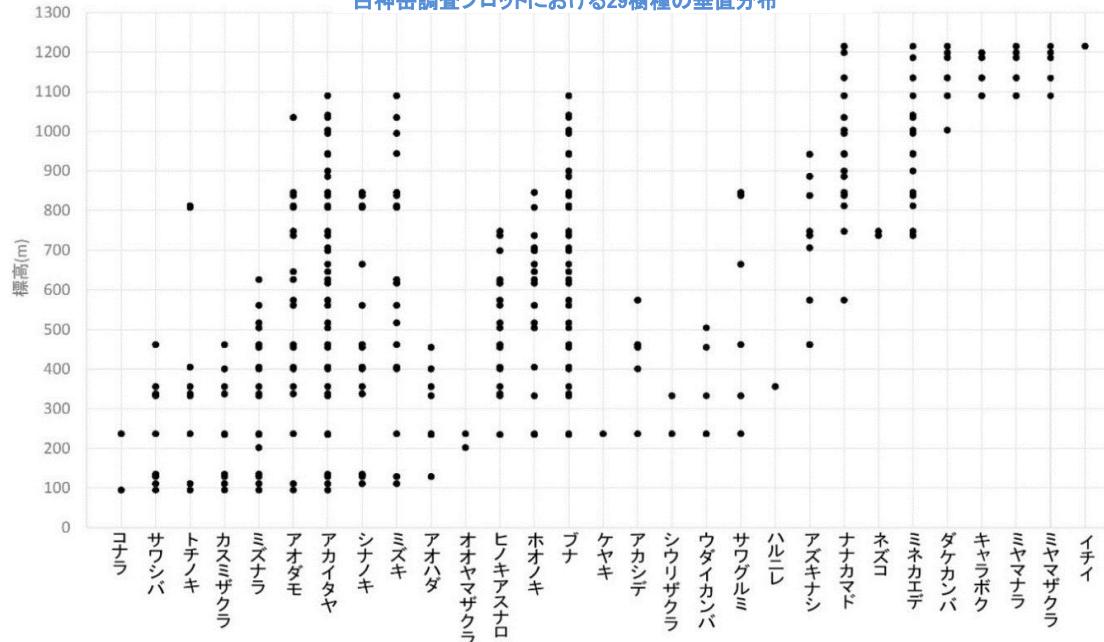
## 凡例

■ H25年度 現地調査位置情報	■ ヒノキアスナロ	■ シギ上ノキ
■ H24年度 桁設置位置情報	■ ブナ	■ 天然スギ
■ H24年度 桁設置時の経路	■ ミズナラ	■ その他の針葉樹
■ 林班界	■ その他の広葉樹	■ アカマツ
	■ カラマツ	■ その他
	■ クロヘキタゴヨウ	

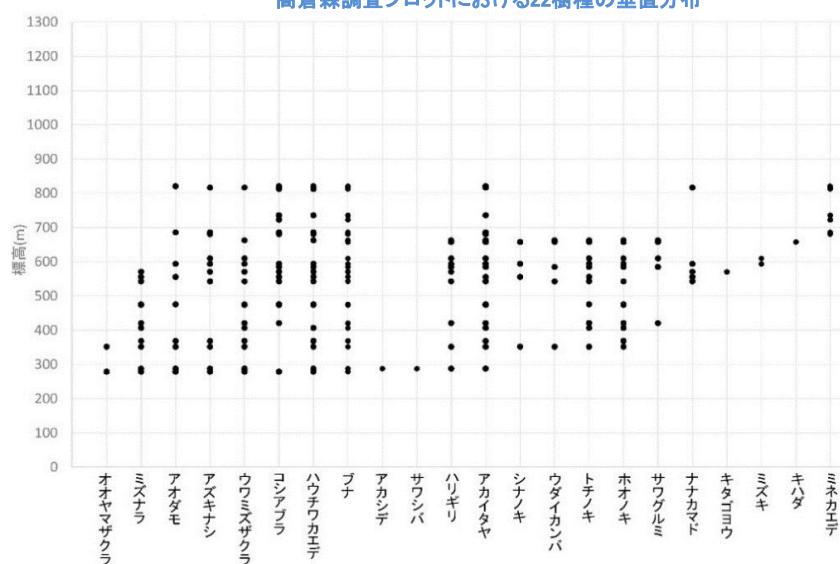
※国有林の森林簿(国有林GISデータ)による区分

## 備 考

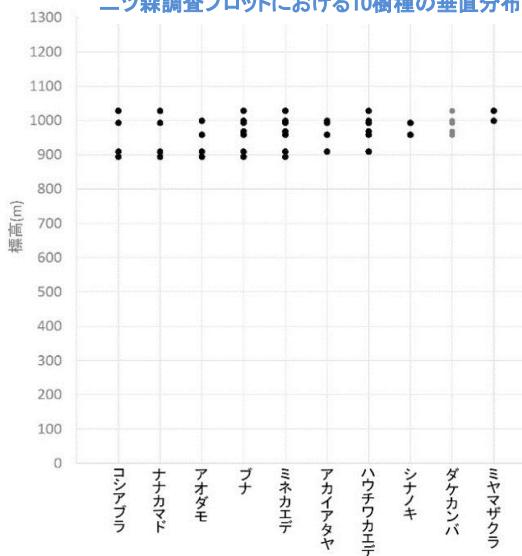
白神岳調査プロットにおける29樹種の垂直分布



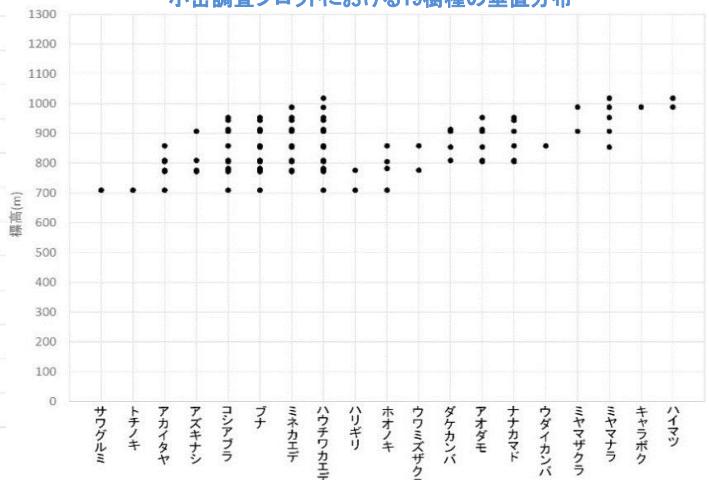
高倉森調査プロットにおける22樹種の垂直分布



ニツ森調査プロットにおける10樹種の垂直分布



小岳調査プロットにおける19樹種の垂直分布



## 備 考

## 各地区の代表的な群落組成

測定番号	No.24	測定番号	No.62	測定番号	No.75	測定番号	No.84
調査地名	白神岳	調査地名	高倉森	調査地名	二ツ森	調査地名	小岳
調査月日	20130903	調査月日	20130920	調査月日	20130904	調査月日	20130922
緯度	40° 30' 35.6"	緯度	40° 31' 52.5"	緯度	40° 26' 09.5"	緯度	40° 25' 38.0"
経度	139° 59' 35.3"	経度	140° 09' 49.9"	経度	140° 06' 55.3"	経度	140° 12' 11.3"
地理区画	60396719	地理区画	60406133	地理区画	60405029	地理区画	60405116
標高(m)	665	標高(m)	663	標高(m)	993	標高(m)	858
傾斜方位	S15W	傾斜方位	S20E	傾斜方位	W	傾斜方位	S70E
傾斜角度	34	傾斜角度	32	傾斜角度	30	傾斜角度	26
地形位置	中腹	地形位置	中腹	地形位置	尾根	地形位置	尾根
微地形	斜面	微地形	斜面	微地形	斜面	微地形	斜面
表層地質	花崗	表層地質	安山	表層地質	凝灰	表層地質	凝灰
土壤型	褐森	土壤型	褐森	土壤型	褐森	土壤型	褐森
調査面積(m <sup>2</sup> )	475	調査面積(m <sup>2</sup> )	430	調査面積(m <sup>2</sup> )	452	調査面積(m <sup>2</sup> )	452
高木 層高さ(m)	12<	高木 層高さ(m)	12<	高木 層高さ(m)	12<	高木 層高さ(m)	12<
中高木 層高さ(m)	5-12	中高木 層高さ(m)	5-12	中高木 層高さ(m)	5-12	中高木 層高さ(m)	5-2
低木 層高さ(m)	2-5	低木 層高さ(m)	2-5	低木 層高さ(m)	2-5	低木 層高さ(m)	2-5
草木 層高さ(m)	0-2	草木 層高さ(m)	0-2	草木 層高さ(m)	0-2	草木 層高さ(m)	0-2
高木 層被率(%)	80	高木 層被率(%)	90	高木 層被率(%)	70	高木 層被率(%)	70
中高木 層被率(%)	50	中高木 層被率(%)	10	中高木 層被率(%)	10	中高木 層被率(%)	20
低木 層被率(%)	10	低木 层被率(%)	50	低木 层被率(%)	5	低木 层被率(%)	60
草木 層被率(%)	80	草木 层被率(%)	80	草木 层被率(%)	100	草木 层被率(%)	50
出現種数	47	出現種数	35	出現種数	26	出現種数	31
ブナ	T1 T2 T2 S1 H1	ブナ	T1 T2 T2 H1	ブナ	T1 T2 S1 H1	ブナ	T1 T2 H1
	5.5 2.2 2.2 + +		5.5 1.1 1.1 +		4.4 1.2 + +		4.4 2.2 +
ツルアジサイ	T1 T2 S1 H1	ツルアジサイ	T1 ハウチワカエデ	ツルアジサイ	ダケカンバ シナノキ	ツルアジサイ	アカイタヤ ツルアジサイ
	+		+		T2 H1	T2 H1	T1 T2 H1
アカイタヤ	T2 H1	アカイタヤ	S1 H1	アカイタヤ	S1 H1	アカイタヤ	ナナカマド チシマザサ
	3.3 +		+		+		S1 H1
ハウチワカエデ	T2 S1 H1	ハウチワカエデ	T2 H1	ハウチワカエデ	シマツバ オオカメノキ	シマツバ	ミネカエデ オオカメノキ
	1.1 1.1 +		+		H1	H1	H1 +
サワグルミ	T2 S1 H1	サワグルミ	H1	サワグルミ	コシアブラ	サワグルミ	オカシバ タムシバ
	+		+		H1	H1	H1 +
オオカメノキ	H1	オオカメノキ	H1	オオカメノキ	チシマザサ	オオカメノキ	ミネカエデ オカシバ
	+		22		H1	H1	H1 +
ツクバネソウ	H1	ツクバネソウ	H1	ツクバネソウ	イワガラミ	ツクバネソウ	ヤマツツジ シロツカグマ
	3.3		+		H1	H1	H1 +
チゴイナズカ	H1	チゴイナズカ	H1	チゴイナズカ	シラネラブリ	チゴイナズカ	ハウチワカエデ アカシバ
	3.3		+		H1	H1	H1 +
オクノカンスゲ	H1	オクノカンスゲ	H1	オクノカンスゲ	ミヤマカンスゲ	オクノカンスゲ	ミネカエデ ヒメオキ
	3.3		+		H1	H1	H1 +
オオバクロモジ	H1	オオバクロモジ	H1	オオバクロモジ	ミネカエデ	オオバクロモジ	ハウチワカエデ ヒメオキ
	2.2		+		H1	H1	H1 +
イワガラミ	H1	イワガラミ	H1	イワガラミ	ハウチワカエデ	イワガラミ	ミネカエデ ヒメオキ
	2.2		+		H1	H1	H1 +
ミヤマタチシダ	H1	ミヤマタチシダ	H1	ミヤマタチシダ	ツクバネソウ	ミヤマタチシダ	ミネカエデ ヒメオキ
	1.1		+		H1	H1	H1 +
シブカクマ	H1	シブカクマ	H1	シブカクマ	ミヤマカンスゲ	シブカクマ	ミネカエデ ヒメオキ
	1.1		+		H1	H1	H1 +
ツタウルシ	H1	ツタウルシ	H1	ツタウルシ	ツルシキミ	ツタウルシ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
トウコクサイン	H1	トウコクサイン	H1	トウコクサイン	ヤマソテツ	トウコクサイン	ツルシキミ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
イヌドウ	H1	イヌドウ	H1	イヌドウ	ヤマソテツ	イヌドウ	ツルシキミ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
ツクバネソウ	H1	ツクバネソウ	H1	ツクバネソウ	ツクバネソウ	ツクバネソウ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
エゾソリハナ	H1	エゾソリハナ	H1	エゾソリハナ	マムシグサ属sp.	エゾソリハナ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
ノリウツギ	H1	ノリウツギ	H1	ノリウツギ	ハリブキ	ノリウツギ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
オオタチソボスミレ	H1	オオタチソボスミレ	H1	オオタチソボスミレ	トチバニンジン	オオタチソボスミレ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
チヨコリ	H1	チヨコリ	H1	チヨコリ	ミヤマラビ	チヨコリ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
ナルメンエビネ	H1	ナルメンエビネ	H1	ナルメンエビネ	スミレ	ナルメンエビネ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
サルナン	H1	サルナン	H1	サルナン	ユキザサ	サルナン	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
コマユミ	H1	コマユミ	H1	コマユミ	タチコア	コマユミ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
シナノキ	H1	シナノキ	H1	シナノキ	ミジンコ	シナノキ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
ユキザサ	H1	ユキザサ	H1	ユキザサ	ツタウルシ	ユキザサ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
トリニアショウマ	H1	トリニアショウマ	H1	トリニアショウマ	ミヤマカンスゲ	トリニアショウマ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
リョウブ	H1	リョウブ	H1	リョウブ	マタタビ	リョウブ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
シジガシラ	H1	シジガシラ	H1	シジガシラ	オオタチソボスミレ	シジガシラ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
マイヅルソウ	H1	マイヅルソウ	H1	マイヅルソウ	シラネアオイ	マイヅルソウ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+		H1	H1	H1 +
ホオノキ	H1	ホオノキ	H1	ホオノキ		ホオノキ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
アグシバ	H1	アグシバ	H1	アグシバ		アグシバ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
カラクサイヌワラビ	H1	カラクサイヌワラビ	H1	カラクサイヌワラビ		カラクサイヌワラビ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
オシダ	H1	オシダ	H1	オシダ		オシダ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
エゾアジサイ	H1	エゾアジサイ	H1	エゾアジサイ		エゾアジサイ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
ホソバツライシダ	H1	ホソバツライシダ	H1	ホソバツライシダ		ホソバツライシダ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
ミヤマアキノキリンソウ	H1	ミヤマアキノキリンソウ	H1	ミヤマアキノキリンソウ		ミヤマアキノキリンソウ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
アマニユウ	H1	アマニユウ	H1	アマニユウ		アマニユウ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
ヤマトブクワ	H1	ヤマトブクワ	H1	ヤマトブクワ		ヤマトブクワ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
ツルリンドウ	H1	ツルリンドウ	H1	ツルリンドウ		ツルリンドウ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
クリスマリ	H1	クリスマリ	H1	クリスマリ		クリスマリ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
タニギキョウ	H1	タニギキョウ	H1	タニギキョウ		タニギキョウ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
タケシマラン	H1	タケシマラン	H1	タケシマラン		タケシマラン	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
ムラサキヤシオ	H1	ムラサキヤシオ	H1	ムラサキヤシオ		ムラサキヤシオ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
ヘビノネコザ	H1	ヘビノネコザ	H1	ヘビノネコザ		ヘビノネコザ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
ミヤマカタバミ	H1	ミヤマカタバミ	H1	ミヤマカタバミ		ミヤマカタバミ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
ウラジロヨウラク	H1	ウラジロヨウラク	H1	ウラジロヨウラク		ウラジロヨウラク	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				
クジャクシダ	H1	クジャクシダ	H1	クジャクシダ		クジャクシダ	ミネカエデ ヒメオキ
	+		+				

## ■凡例 1

表のT1、T2、S1、H1は左側にある種類を確認した植生の階層(高さの範囲)を示す。階層区分とその範囲は以下のとおり。

## ■凡例 2

表の+、1.1、2.2、3.3、5.5等は数値の左側にある種類の被度・群度を示す。

◎被度とは、プロット内でそれぞれの種が地上をおおう割合をいう。次の階級に区分されている。

5(被度が調査面積の3/4以上を占めているもの)、4(被度が調査面積の1/2~3/4を占めているもの)。

3(被度が調査面積の1/4~1/2を占めているもの)、2(個体数が極めて多いか、また少なくとも被度が1/10~1/4を占めているもの)、1(個体数は多いが、被度が1/20以下、または被度が1/10以下で個体数が少ないもの)、+(個体数も少なく、被度も少ないもの)。

◎群度とは、プロット内でそれぞれの種がどのように配布されているかという集合の度合いを示すものである。

群度は被度の大小とは関係なく個体の配分状態のみが対象となる。群度階級は次のとおりである。

5(調査区内にカーペット状に一面に生育しているもの)、4(大きなまだら状またはカーペットのあちこちに穴があいているような状態のもの)、3(小群のまだら状のもの)、2(小群をなしているもの)、1(単独に生えているもの)。